

令和3年度全国学力・学習状況調査結果（湖西市）

湖西市教育委員会

8月31日に、文部科学省は5月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。調査結果について、全国の正答率と併せて、湖西市の子どもたちの様子をお知らせします。

1 調査の概要

- ◆目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆実施日 令和3年5月27日
- ◆実施対象 小学6年生
- ◆調査内容
  - ・教科調査（国語、算数）
  - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 結果の概要（全国との比較）

教科	
国語	◎
算数	○

◎＝全国平均を上回る  
○＝全国平均とほぼ同じ  
△＝全国平均を下回る

質問紙	
国語への関心等	△
算数への関心等	◎
やさしさ	○
たくましさ	○
こころざし	◎

「湖西市教育振興基本計画」  
における基本理念より

教科に関すること

○よいところ

◎＝全国平均を上回る  
○＝全国平均とほぼ同じ  
△＝全国平均を下回る

教科	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率（市）	正答率（全国）
国語	2二	○【資料】の文章の中の「～は～より」の使い方を適切に捉える。	・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う。	86.0	87.5
	3三 (1) エ	◎文中の平仮名を、漢字を使って書き直す。「原因」	・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。	85.8	79.0
	1三	◎スピーチメモの中で、話し手が何を伝えたいかを踏まえ、話す内容として適切なものを選ぶ。	・目的や意図に応じ、資料を使って話す。	82.7	81.0
算数	3(1)	○6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ。	・棒グラフから、数量を読み取ることができる。	97.0	95.8
	3(2)	○学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ。	・棒グラフから項目間の関係を読み取ることができる。	92.1	90.7

算数	1(4)	○午後1時35分から50分後の時刻を書く。	・条件に合う時刻を求めることができる。	89.4	89.2
----	------	-----------------------	---------------------	------	------

### △もう少しがんばりたいところ

教科	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	正答率(全国)
国語	2四	◎面ファスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているか、条件に合わせて書く。	・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。	32.9	29.7
	3三 (2)オ	△「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選ぶ。	・文の中における修飾と被修飾との関係を捉える。	38.0	43.6
	2三	◎面ファスナーは、何をヒントに、どのような仕組みで作られたのかを条件に合わせて書く。	・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つける。	40.4	34.4
算数	2(1)	△直角三角形の面積を求める式と答えを書く。	・三角形の面積の求め方について理解している。	46.3	55.1
	2(3)	◎二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く。	・図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、図形の求め方と答えを記述できる。	47.6	46.0
	3(4)	△帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く。	・帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。	50.0	52.0

### ◆成果と課題

国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全領域で、全国の平均正答率を上回る結果でした。また、「書くこと」「読むこと」における記述式の問題で、高い正答率でした。一方、無解答率が、ほとんどの問題で全国平均より高く、自分の考えに自信をもったり、最後までねばり強く取り組んだりすることを苦手とする児童が多い傾向が見られました。

算数では、「数と計算」「測定」の領域で、全国の平均正答率を上回りました。一方で、「図形」では、面積の求め方を正しく立式したり、説明したりすることを苦手としていたことが分かりました。公式を覚え、機械的に数を操作するだけでなく、「なぜそのような公式になるのか」を理解し、知識や技能をどのように活用するかが、今後の課題です。

### ◆今後の取り組み

湖西市では、各学校で7月までに「振り返り」を実施しました。

- 問題文を読み直し、分かっていることと、問われていることを確認した。
- 苦手とした問題を復習し、同じ問題あるいは類似問題を解いた。
- 国語・算数の授業や、他教科の学習で、設問と似た学習場面を意識的に設定した。

## 国語

- 発達段階に応じて、目的を意識して書いたり、条件に合わせて書いたりする経験を積み重ねる。
- 主語と述語の関係を意識して、文章を書いたり話したりする習慣を付ける。
- 新出漢字の学習では、書き方だけでなく、使い方や音訓の読み方も指導する。
- 各単元で身に付けた国語の力を、次の単元や他教科でも活用できるように、学習計画を立てる。
- 新聞記事を用いて、記事の大まかな内容や筆者の意図を捉え、他者に伝える活動を国語以外の時間も使って、継続的に行う。
- 読書に親しむ習慣を付け、長文の読み取りに対する抵抗を少なくする。
- 日々の音読指導を通して、言い回しや語彙の習得につなげる。

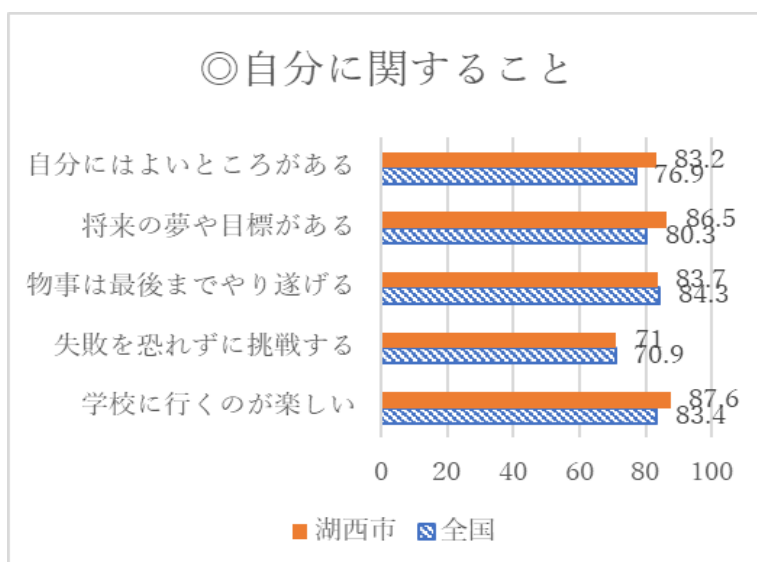
## 算数

- 言葉や図を使って、自分の考えを書いたり、友達に説明したりする活動を、授業の中で設定する。
- 自分の考えを友達に理解してもらえるように、「何を」「どのように」「どの順序で」「どの程度」伝えるのか、見通しを立ててから伝え合うよう指導する。
- 日常生活の事象を取り上げることで、生活の中で算数が活かせることに気づき、学ぶ意欲を高める。
- 問題文を読み取り、分かっていることと、問われていることを正確に捉えられるよう、国語の学習も生かしながら指導の充実を図る。
- 公式を覚えるだけでなく、公式を導き出す過程に重点を置いた指導をする。

今回の調査結果をもとに、各学校で改めて分析を進めています。それぞれの学校における実態を再度把握し、さらに授業改善を進めていきます。湖西市教育委員会では、子どもたちの実態と各学校の取り組みを共通理解するために学力向上検討会を開催し、湖西市全体で湖西市の子どもたちを育てていきたいと考えています。

## 質問紙調査に関すること

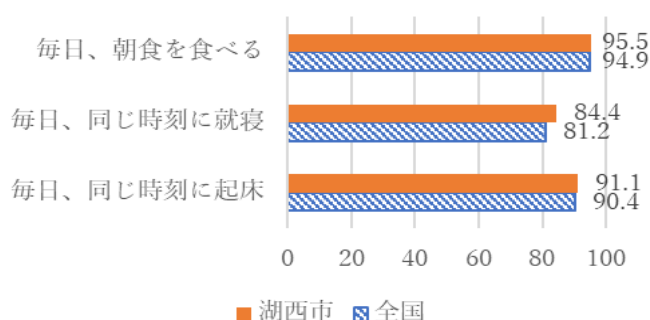
質問紙には、「家庭や学校の生活について」「学校での学習について」等、合計67の質問がありました。肯定的な回答をした児童の割合から、湖西市の子どもたちのよいところ、がんばりたいところを紹介します。



8割以上の児童が、自分のよさを認めています。家庭、学校、地域の大人が、いつも温かく見守ってくれているという安心感は、児童の自己肯定感を高め、成長につながります。

夢はまだ具体的には決まっていなくても、「こんな人になりたい」という目標や向上心をもって、失敗を恐れず、様々なことに挑戦してもらいたいです。

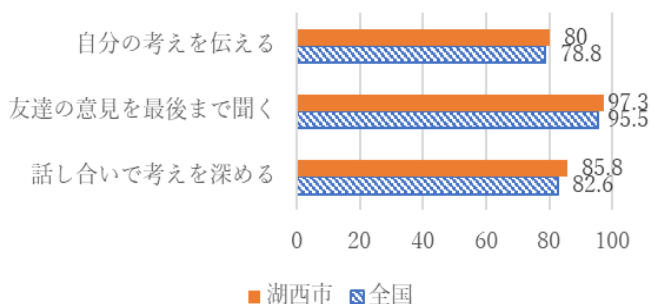
### ◎規則正しい生活



毎日、朝食を摂ると、頭と体がしっかり目覚め、脳の働きも活発になって集中力が高まります。

また、良質な睡眠は、体の成長だけでなく、記憶の整理や学習の定着も促します。テレビやゲームなどは、使用時間や終わる時間を決めて使い、今後も規則正しい生活を送っていけるよう、声掛けや見届けをお願いします。

### ◎学級の友達との関わり



長引くコロナ禍の影響で、人との関わりが希薄になっています。

そのような状況下でも、学校の授業では、友達の考えを最後まで聞き、自分の考えと同じところや違うところを受け止めた上で、自分の考えを伝えていきます。このような「伝え合い」を通じ、多様性を認め合い、さらに自分の考えを深めたり広げたりしています。

### ◎家庭学習に関すること



自分で計画を立てて勉強している児童の割合は、全国平均と比べて低い傾向が見られます。テストの日程や範囲を前もって知らせ、自分の目標に向かって計画的に勉強できるよう、指導していきたいと思います。

また、結果を踏まえて、学習方法や計画を修正する力も求められます。中学生に向けて、まずは1日1時間、机に向かってみましょう。

## 学びの基礎 7つの取り組み

### 愛情と思いやりのあふれる家庭づくり

湖西市では、「学びの基礎7つの取り組み」を発達段階に応じて設定し、推進しています。食事や運動、睡眠など、学びの基礎となるのは基本的な生活習慣です。学力調査の結果からも、生活習慣と学力の相関関係が出ています。今後も家庭と学校、地域が連携して、子どもたちの学びの礎を築いていきましょう。御協力をよろしくお願いいたします。

- ことばを使って思いを伝えましょう
- 進んであいさつをしましょう
- 早寝・早起きの習慣をつけましょう
- テレビやゲームの使用は、ルールを守りましょう
- 体を動かして体力をつけましょう
- 友だちといろいろなことにチャレンジしましょう
- 朝ごはんをしっかり食べましょう